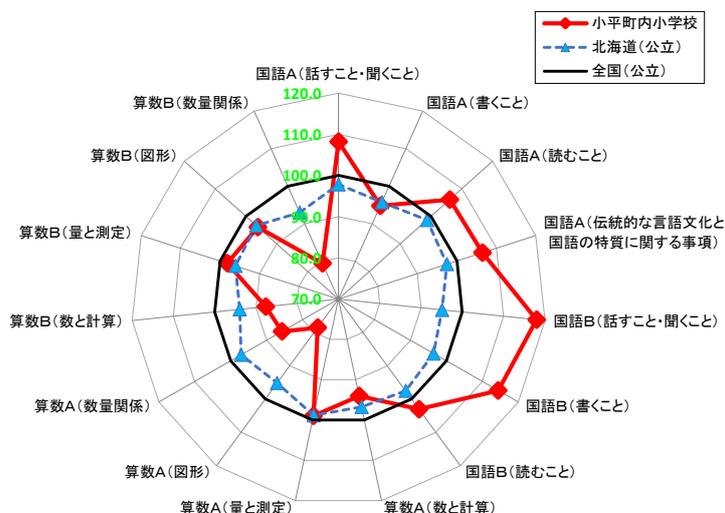


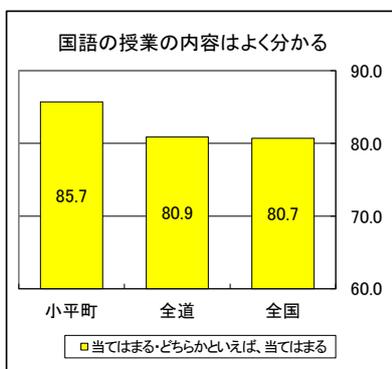
■小平町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2、児童数:21名)

【教科全体の状況】

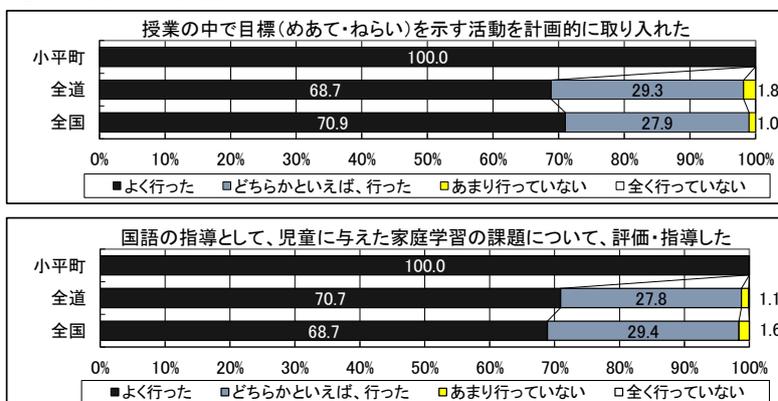
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、すべての領域で、全国を上回っている。 ○ 算数A・Bでは、「量と測定」で、全道を上回っている。 ○ 算数Aでは、「数と計算」、Bでは、「図形」で、全道とほぼ同様である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校で、授業の中で目標(めあて・ねらい)を児童に示す活動の充実を図ったことにより、国語の授業の内容がよく分かる児童が増え、国語のほとんどの領域で全国を上回るなど、学力の向上につながったと考えられる。 ○ すべての学校で、国語の指導として、児童に与えた家庭学習の課題について、評価・指導したことにより、国語のほとんどの領域で全国を上回る成果を上げることにつながったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の指導として、児童に与えた家庭学習の課題について、評価・指導した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

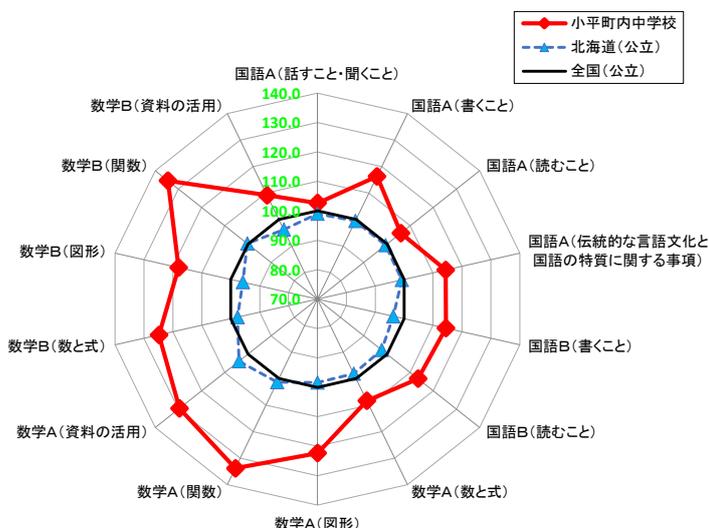
【小平町の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた学力向上の取組の推進
- ◎ 長期休業中における学習サポート授業の実施
- ◎ 個に応じたきめ細かな学習指導の充実
- ◎ 家庭との連携による学習習慣の確立に向けた取組の推進
- ◎ 学校での朝読書活動、家庭での読書習慣の定着化

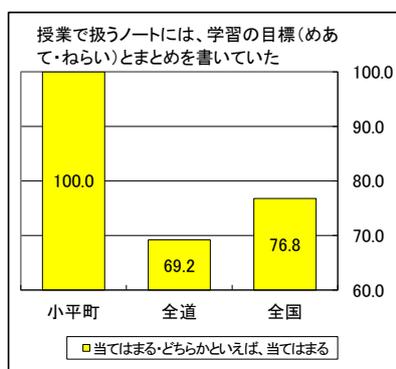
■小平町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:14名)

【教科全体の状況】

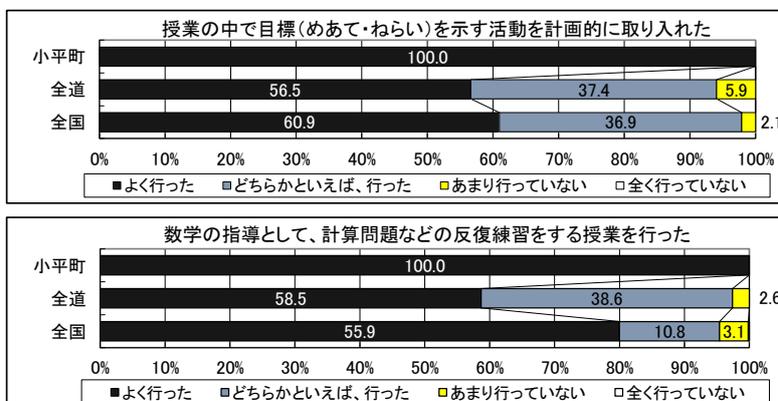
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A・Bでは、すべての領域で、全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、「数と式」「図形」、Bでは、「数と式」「図形」「資料の活用」で、全国を上回っている。数学Aでは、「関数」「資料の活用」、Bでは、「関数」で、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校が授業の中で目標(めあて・ねらい)を生徒に示す活動の充実を図ったことにより、学習の目標やまとめをノートに書く生徒が増え、国語・数学ともにすべての領域で全国及び全道を上回るなど、学力の向上につながったと考えられる。 ○ 学校が数学の指導として、計算問題などの反復練習をする授業をよく行ったことにより、数学のすべての領域で全国及び全道を上回るにつながったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた」「数学の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行った」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 	

【小平町の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた学力向上の取組の推進
- ◎ 長期休業中における学習サポート授業の実施
- ◎ 個に応じたきめ細かな学習指導の充実
- ◎ 家庭との連携による学習習慣の確立に向けた取組の推進
- ◎ 学校での朝読書活動、家庭での読書習慣の定着化